

1 アンドルーのひみつきち



- ① ドリス・バーン/文・絵  
千葉茂樹/訳
- ② 岩波書店
- ③ 1300円
- ④ E

物作りが大好きなアンドルーは、やりすぎて家族にいつも文句を言われます。ある日、彼は、道具をもって家出し、原っぱに自分だけの秘密基地をつくりました。すると、すぐに友達が集まってきて…。創作意欲に富んだ子どもの想いを生き生きと描いた作品です。

2 いのりの石  
ヒロシマ・平和へのいのり



- ① こやま峰子/文  
塚本やすし/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1300円
- ④ E

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されました。広島電鉄の敷石は、人々の手で再生され、平和の大切さを伝えるために「祈りの石」として世界各国へと届けられました。敷石が平和希求のシンボル・メッセージになるまでが描かれた作品です。

3 オオサンショウウオみつけたよ



- ① にしかわかと/ぶん  
おおきあさみ/え
- ② 福音館書店
- ③ 1400円
- ④ E

秋に巣穴の中で孵化したオオサンショウウオの赤ちゃんは春、川に出て行きます。誕生してから一年間の成長と、数年後の変態、さらに数年後の成熟や繁殖の様子が季節感あふれる美しい絵と文でわかりやすく描かれています。自然環境の保護やオオサンショウウオと人間との共存について考えさせる一冊です。

4 おじいちゃんのコート



- ① ジム・エイルズワース/文  
バーバラ・マクリットック/絵  
福本友美子/訳
- ② ほるぷ出版
- ③ 1600円
- ④ E

よく働き、節約し、物をとても大切にしているアメリカ移民の生活をもとにした話です。おじいさんの人生に寄り添い、大切にされてきたコートは、古くなっていきますが、おじいさんの手でその型を変えられ、生かされていく様子が描かれています。くりかえしのおもしろさやおじいさんの優しさにあふれる作品です。

5 おねえちゃんにあった夜



- ① シェフ・アールツ/文  
マリット・テルンクグイスト/絵  
長山さき/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1700円
- ④ E

自分が生まれる前に死んだ姉に思いを馳せる弟は、突然現れた姉と2人で自転車に乗り、森を抜け、空を飛び、墓地や病院や公園を巡りました。寄り添う2人を空から見守るような絵が美しく、「死」というテーマを子どもに向けて問いかける印象深い作品です。

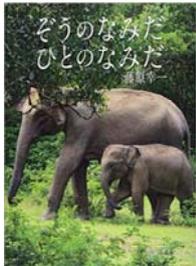
6 子どものためのラ・フォンテーヌのおはなし



- ① ラ・フォンテーヌ/原作  
マガレット・ワイス・ブラウン/再話  
アンドレ・イレ/絵  
あべきみこ/訳
- ② こぐま社
- ③ 1400円
- ④ E

フランスの詩人ラ・フォンテーヌが詩の形で書いた寓話集です。イソップをもとにして書かれた13の寓話は、擬人化され動物などに託して生きるための知恵が語られています。おはなしと絵は親しみやすく、かつ楽しく子どもたちに語りかけています。

7 ぞうのなみだひとのなみだ



- ① 藤原幸一/著
- ② アリス館
- ③ 1400円
- ④ E

ぞうの親子が森の奥へ行くと、人間によって切り開かれ、田んぼになっていました。稲を食べた母親ぞうは、田んぼを守ろうとする人間に銃でうたれてしまいます。家族を守ろうとする心と悲しみの涙は、ぞうも人間も同じであることが描かれています。死んだぞうに寄り添う女の子の写真が印象的です。

8 はなちゃんのみそ汁 絵本



- ① 安武信吾/原作  
安武千恵/原作  
安武はな/原作  
講談社
- ②
- ③ 1400円
- ④ E

5歳のはなちゃんは、毎朝早起きをして自分で朝ご飯のみそ汁を作ります。がんで闘病中だったお母さんは、はなちゃんにみそ汁以外にもたくさんの料理と、洗濯や掃除も教えてくれました。お母さんの思いや、はなちゃんの強く生きる姿に涙があふれる作品です。

9 ぼくは、チューズデー 介助犬チューズデーのいちにち



- ① ルイス・カルロス・モンタルバン/文  
プレート・ウィッター/共著  
タン・ディオン/写真  
ほるぷ出版
- ②
- ③ 1400円
- ④ E

戦争でけがをしたルイスは今までどおりに生活することができなくなってしまいます。そんなルイスを献身的に支えているのが介助犬チューズデー。ルイスとチューズデーは、最高のパートナーとしてお互いに愛情を注ぎ合います。介助犬に対する理解が深まり、優しく見守りたくなるような作品です。

10 マララとイクバル パキスタンのゆうかな子どもたち



- ① ジャネット・ウィンター/さく  
道傳愛子/やく  
岩崎書店
- ②
- ③ 1600円
- ④ E

女の子が学校に通う権利を訴え続けるマララ。児童労働に対して声をあげ続けるイクバル。パキスタンの2人の子どもたちは、私たちにとってとても大切な権利を求めて、命がけで立ち向かいます。そんな勇敢な2人の人生は世界に伝わり、多くの人が考えさせられたお話です。

11 みんなからみえないブライアン



- ① トル・ディ・ラト・ウィック/作  
パトリス・バートン/絵  
さくまゆみこ/訳
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ E

繊細で内気なブライアンは、なかなかクラス  
の輪に入っていきません。でもそんなある  
日、転校生のジャスティンと出会ったことで、  
ブライアンは笑顔いっぱい輝くようになり  
ます。子どもたちの勇気や優しさに心が温か  
くなるお話です。

12 ラブリーオールドライオン  
おじいちゃん、わすれないよ



- ① ジュリア・ジャーマン/さく  
スザン・バーレイ/え  
こだまともこ/やく
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ E

少しずつ記憶を失っていく王様ライオンと  
その孫との心の交流を描いています。おじい  
ちゃんのことばに優しさを感じ、いつまでも  
おじいちゃんを忘れないようにと思う孫の素  
直な心に共感できます。認知症のおじいちゃ  
んを支える孫のライオンやまわりのライオン  
たちを描く感動の物語です。

13 こぶたのピクルス



- ① 小風さち/文  
夏目ちさ/絵
- ② 福音館書店
- ③ 1600円
- ④ 91/コ015

ピクルスはこぶたの男の子です。ピクルス  
の毎日は、楽しさいっぱいですが、失敗もい  
っぱいあります。それでも、ピクルスはいつ  
も明るく元気です。文章と絵によってピクル  
スが生き生きと描かれており、こんなピクル  
スと友だちになりたいと思わせる一冊です。

14 ぼくとお父さん



- ① 清水千恵/作  
山本祐司/絵
- ② 文研出版
- ③ 1200円
- ④ 91シ014

主人公のけんは、事故でお父さんを亡くし  
てからうまく話せなくなってしまいます。大  
好きな野球にも行かなくなったけんは、幼な  
じみのたいちから「いじけ虫」と呼ばれてし  
まいますが、落ち込んでいるけんをそばで励  
ましてくれたのもたいちでした。友情や親子  
の絆に胸が温かくなるお話です。

15 おーばあちゃんはきらきら



- ① たかどのほうこ/さく  
こみねゆら/え
- ② 福音館書店
- ③ 1400円
- ④ 91タ015

小学校一年生の女の子チイちゃんには、「お  
ーばあちゃん」とよんでいるひいおばあちゃ  
んがいます。チイちゃんは、おーばあちゃん  
の小さい頃のお話を聞きながら、いろいろな  
気持ちになる体験をします。二人の心の交流  
が描かれており、おーばあちゃんのチイちゃ  
んへの優しさがあふれている内容です。